



TYO 5290

株式会社ベルテクスコーポレーション

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月16日

1

2023年3月期通期 決算概要

P.02

2

2024年3月期 業績予想

P.13

3

中期経営計画 進捗状況

P.17

参考資料

P.39

1 2023年3月期通期 決算概要

2. 2024年3月期 業績予想

3. 中期経営計画 進捗状況

参考資料

1-1. 2023年3月期 連結損益計算書

- 売上高は、期初予想通りの結果となりました。
- 一方、販売価格アップは進めているものの、原材料価格の高騰、及び、販売量が期初予想時より下回ったことが影響し、各段階利益は修正した業績予想をさらに下回りました。

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		前年同期比		期初予想対比		
	実績	期初予想値	2月9日 修正予想値	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
売上高	37,514	39,000	39,000	39,095	1,581	4.2%	95	0.2%
営業利益	6,143	6,200	5,700	5,560	△583	△9.5%	△640	△10.3%
営業利益率	16.4%	15.9%	14.6%	14.2%	—	△ 2.2pt	—	△ 1.7pt
経常利益	6,434	6,500	5,900	5,837	△597	△9.3%	△663	△10.2%
経常利益率	17.2%	16.7%	15.1%	14.9%	—	△ 2.3pt	—	△ 1.8pt
親会社株主に帰属する当期純利益	4,242	4,350	4,000	3,742	△500	△11.8%	△608	△14.0%
当期純利益率	11.3%	11.2%	10.3%	9.6%	—	△ 1.7pt	—	△ 1.6pt

■ セグメント別売上高

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		前年同期比		期初予想値	
	実績	期初予想値	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
コンクリート	28,414	28,910	27,202	△1,212	△4.3%	△1,708	△5.9%
パイル	2,343	2,910	4,045	1,702	72.6%	1,135	39.0%
防災	4,565	4,780	4,909	344	7.5%	129	2.7%
その他	2,190	2,400	2,938	748	34.1%	538	22.4%

■ セグメント別利益

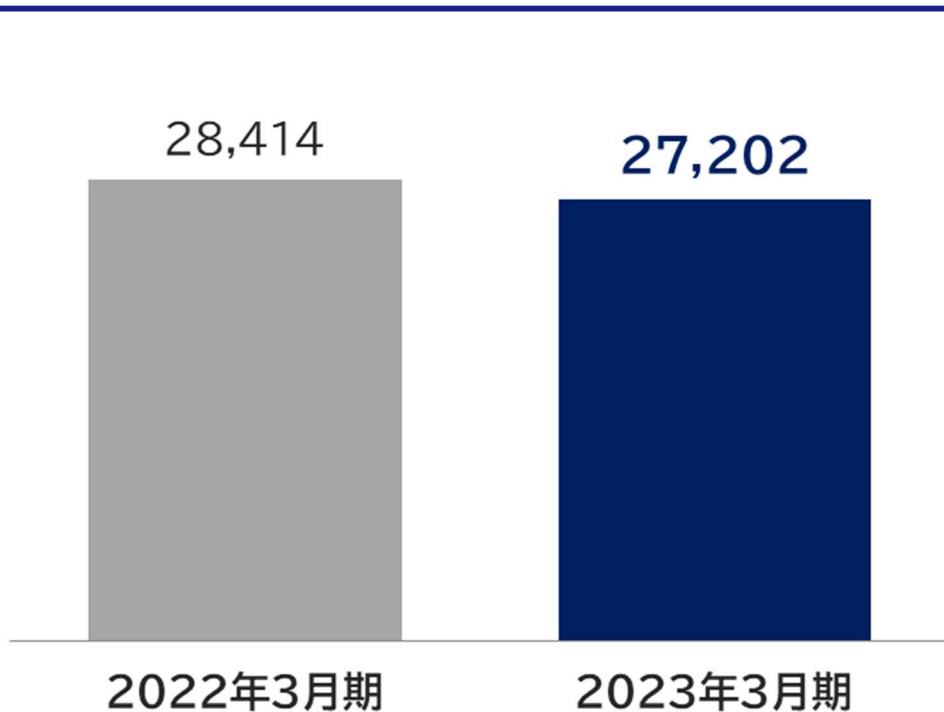
(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		前年同期比		期初予想値	
	実績	期初予想値	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
コンクリート	5,549	5,550	4,882	△667	△12.0%	△668	△12.0%
パイル	85	130	263	178	209.5%	133	103.1%
防災	1,194	1,240	1,276	82	6.9%	36	3.0%
その他	459	480	544	85	18.6%	64	13.5%
(調整額)	△1,144	△1,200	△1,407	△263	23.0%	△207	17.3%
連結合計	6,143	6,200	5,560	△583	△9.5%	△640	△10.3%

※1 売上高は外部顧客への売上高の数値を記載しております。
 ※2 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

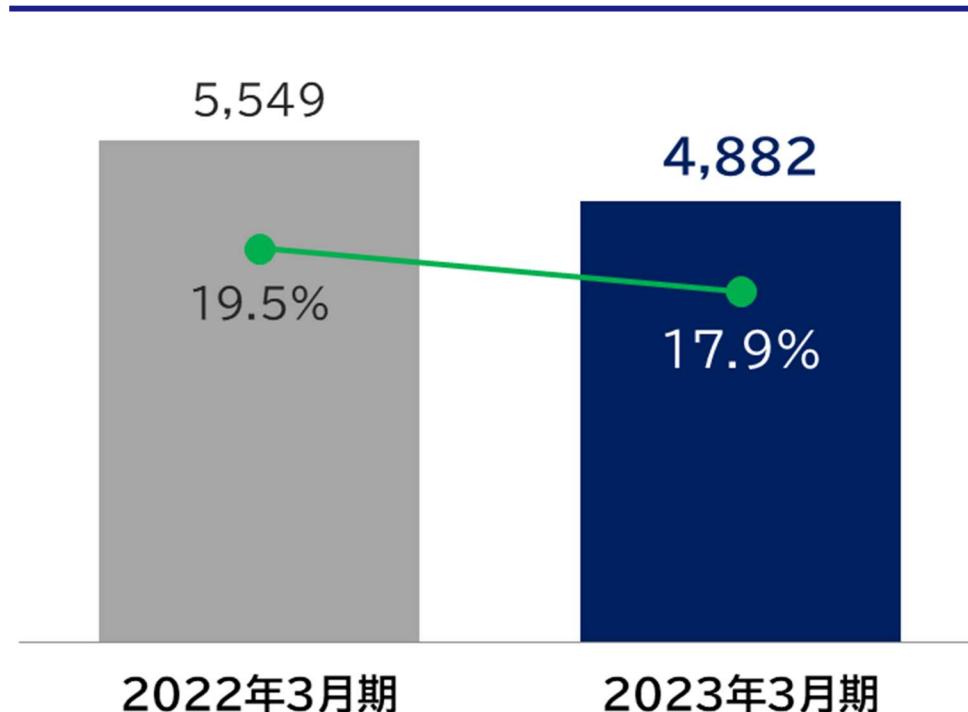
コンクリート事業

- 戦略的な高付加価値製品へのシフトに伴う製品ミックスの改善や販売単価の見直しなどを進めましたが、原材料価格の高騰及び前期大型案件に伴う販売量をカバーするまでには至らず、**前期比減収・減益** となりました。

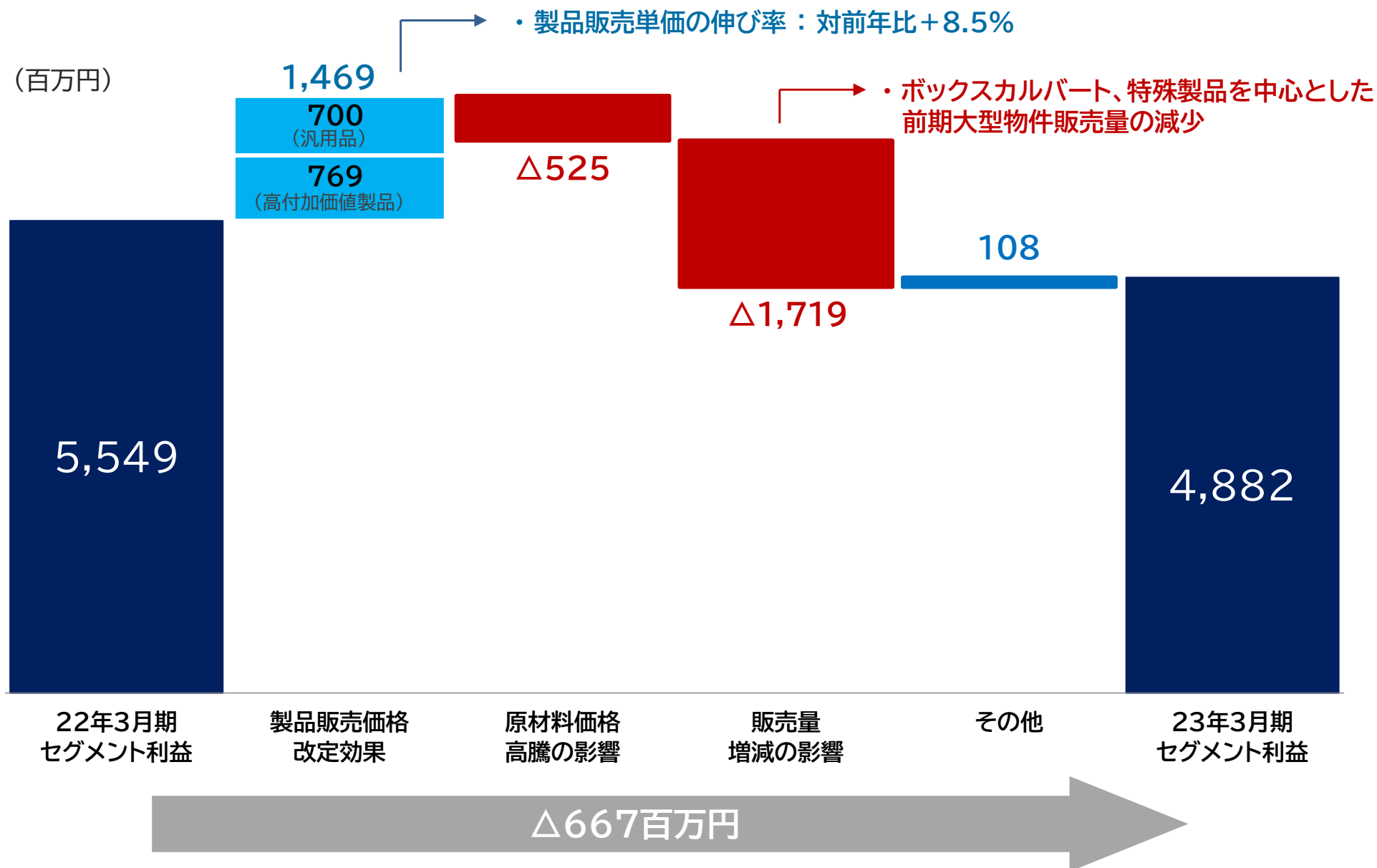
売上高 (百万円)



セグメント利益・利益率 (百万円)

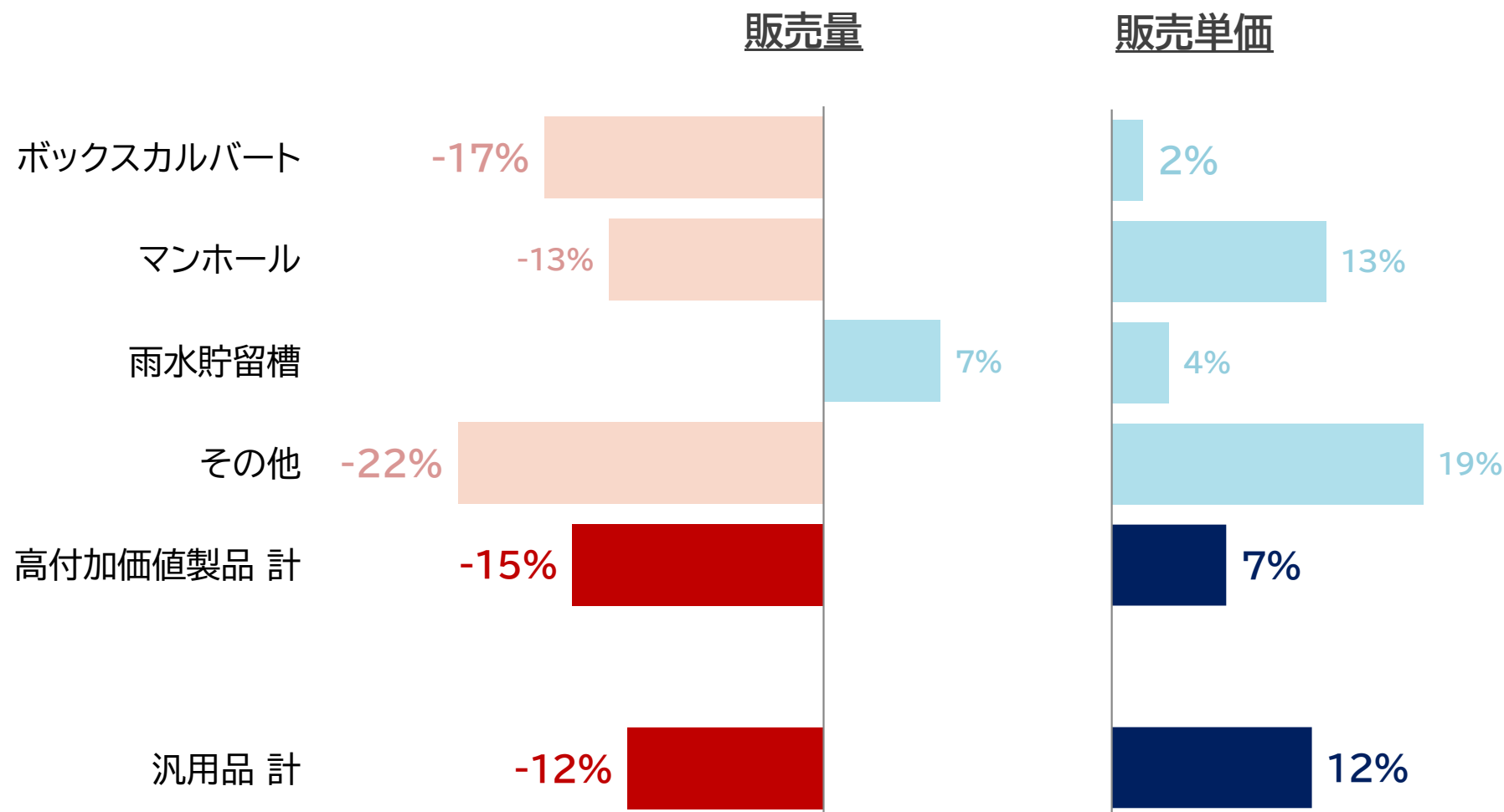


■ セグメント利益差異要因 (コンクリート事業)



■ 販売量・販売単価の前年対比（コンクリート事業）

前期大型案件の主力製品であったボックスカルバートや特殊製品（その他に分類）において販売量が減少。また、ボックスカルバート内の製品ミックスの影響により、販売単価の上昇率が低調となったことが主な減益の要因となっております。

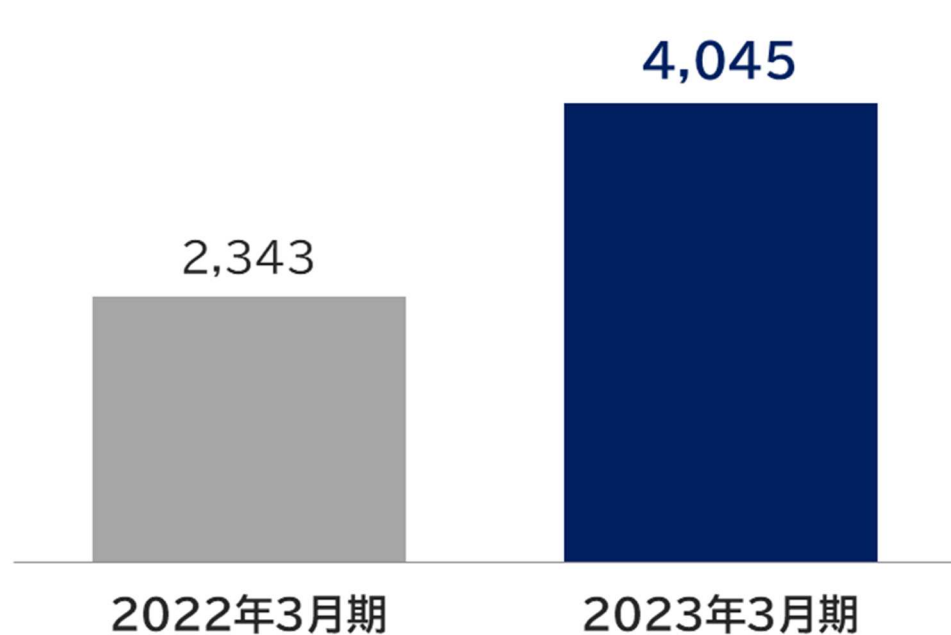


*バルテクス(株)のみの集計値となります。

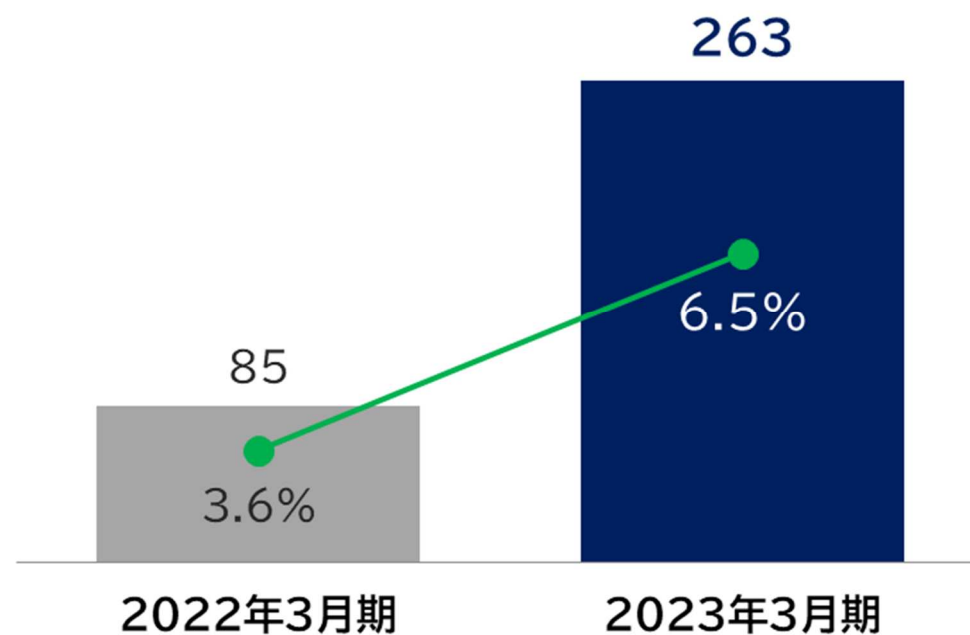
パイル事業

- 民間企業を中心とした設備投資の回復による需要が増加する中、原材料価格の動向に注視し、販売単価を意識した選別受注を進めたことにより、**前期比増収・増益**となりました。

売上高 (百万円)

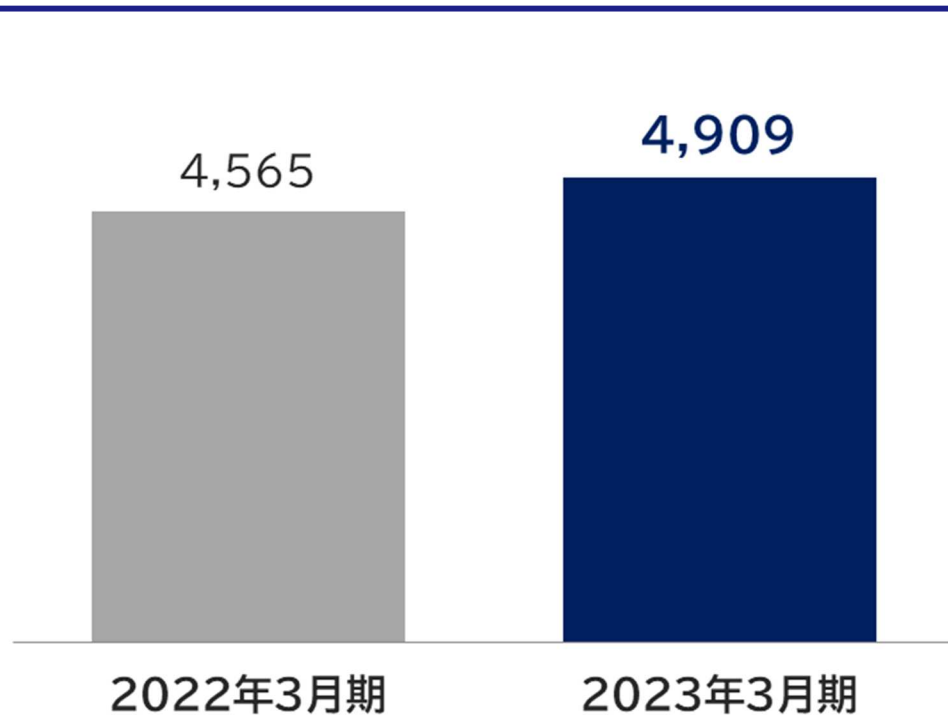
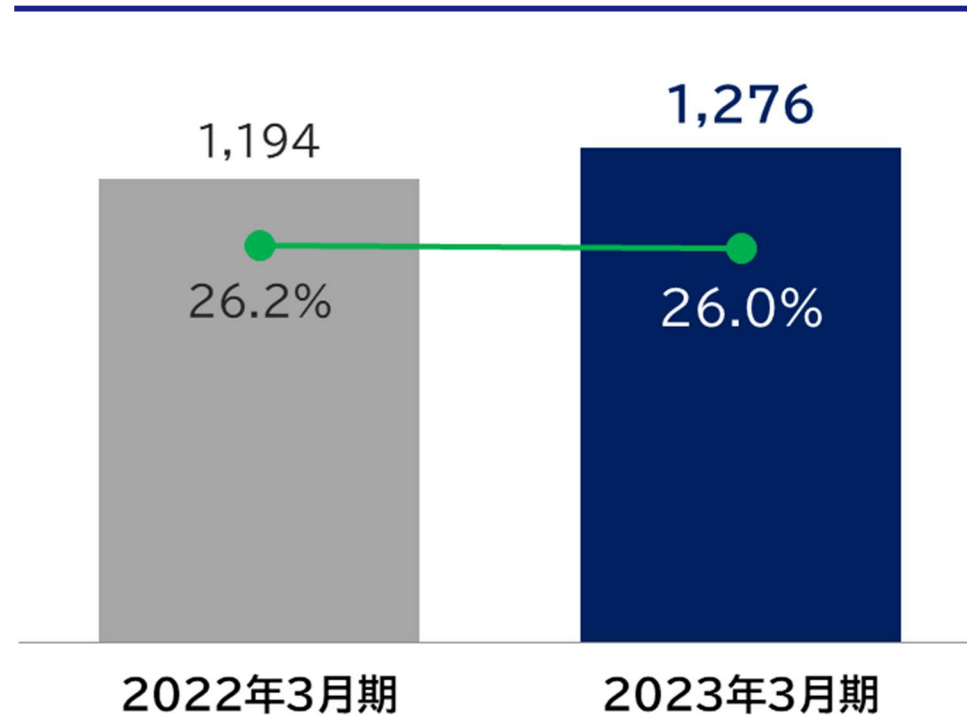


セグメント利益・利益率 (百万円)



防災事業

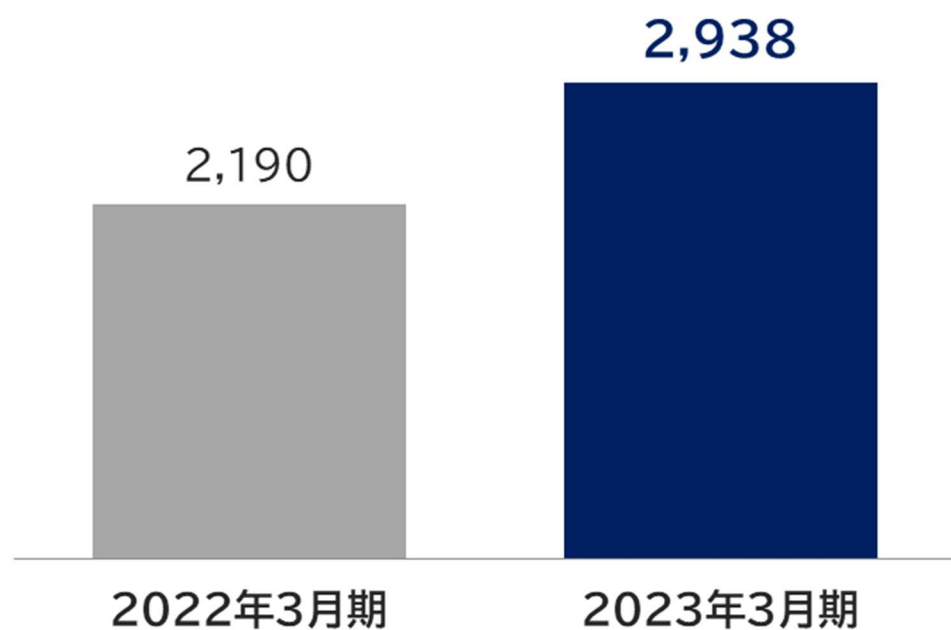
- 防災・減災、国土強靱化対策の推進に伴う堅調な成長を追い風としつつ、製品開発にいち早く取り組み、受注活動につなげたことにより、**前期比増収・増益**となりました。

売上高
(百万円)セグメント利益・利益率
(百万円)

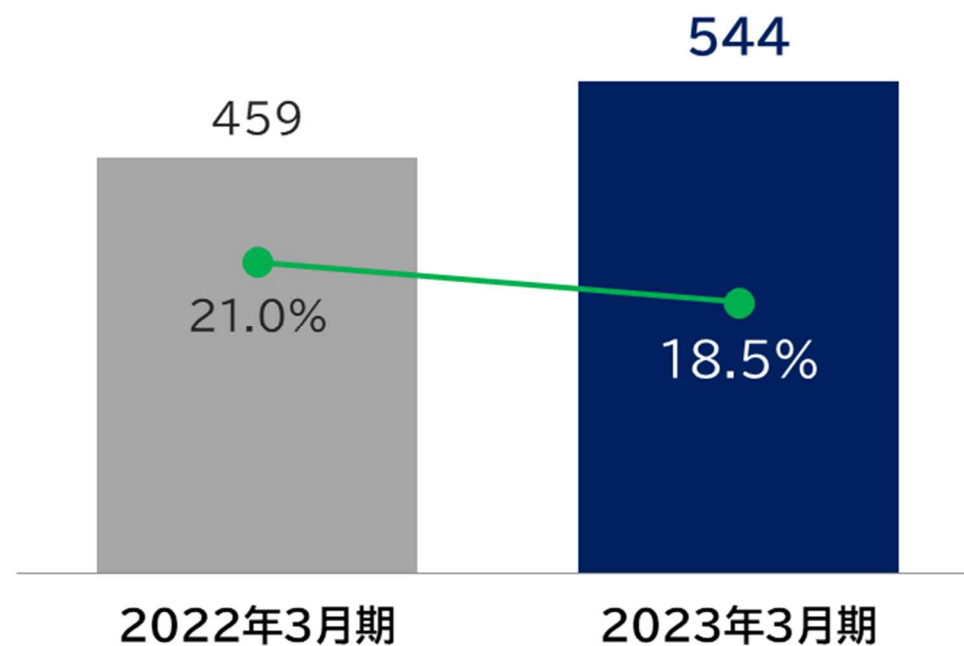
その他（セラミックス事業、賃貸事業、油圧ホース関連事業等）

- 2022年10月4日付で完全子会社化したプロフレックス株式会社の買収効果などにより、**前期比増収・増益**となりました。

売上高 (百万円)



セグメント利益・利益率 (百万円)



1-4. 2023年3月期 連結貸借対照表

(単位:百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比
現預金	12,905	11,017	△1,888
売上債権	12,689	12,720	31
棚卸資産	5,020	5,309	289
その他流動資産	529	933	404
流動資産 計	31,143	29,977	△1,166
有形固定資産	12,396	12,596	200
無形固定資産	360	4,105	3,745
投資その他の資産	3,520	3,163	△357
固定資産 計	16,276	19,866	3,590
資産合計	47,419	49,843	2,424

(単位:百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比
仕入債務	6,775	6,234	△541
有利子負債	4,055	5,459	1,404
その他負債	7,393	6,565	△828
負債 計	18,223	18,258	35
株主資本	27,694	29,946	2,252
その他包括利益累計額	1,351	1,387	36
新株予約権	150	249	99
純資産 計	29,196	31,584	2,388
負債・純資産合計	47,419	49,843	2,424

流動資産 △11.6億円

- ・ 現預金の減少
- ・ 棚卸資産(商品)の増加

固定資産 35.9億円

- ・ のれん償却額の増加

負債 0.4億円

- ・ 短期借入金の増加
- ・ 長期借入金の増加
- ・ 退職給付に係る負債の減少

純資産 23.9億円

- ・ 利益剰余金の増加

	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	61.3%	62.9%
ネットキャッシュ	8,850	5,558
D/Eレシオ	0.14倍	0.17倍

※1 ネットキャッシュ=現預金-有利子負債

※2 D/Eレシオ=有利子負債/純資産

- 製品製造に必要な型枠、機械、金型類及び九州エリアの製造設備など、減価償却費を上回る額の設備投資を行いました（セグメント別の投資実績は下表ご参照）。

(単位:百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比
現金及び現金同等物の期首残高	10,893	12,130	1,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,995	3,859	△1,136
(うち減価償却費)	821	906	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,141	△2,941	△1,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,617	△2,066	551
現金及び現金同等物の増減額	1,236	△1,147	△2,383
現金及び現金同等物の期末残高	12,130	10,982	△1,148

■ 主な投資実績 (単位:百万円)

コンクリート事業(型枠、機械、工具等)	561
パイル事業(機械類等)	115
防災事業(工場建屋等)	206
その他事業(ホテル建設、金型、機械類等)	211
全社共通(ソフトウェア等)	168
合計	1,263

1. 2023年3月期通期 決算概要

2 2024年3月期 業績予想

3. 中期経営計画 進捗状況

参考資料

2-1. 2024年3月期 業績予想

- 資材価格高騰や物流コストの上昇など厳しい事業環境ですが、販売単価への反映、製品ミックスの更なる改善及びコスト削減に取り組むことで、**前期比増収増益**を目標とします。

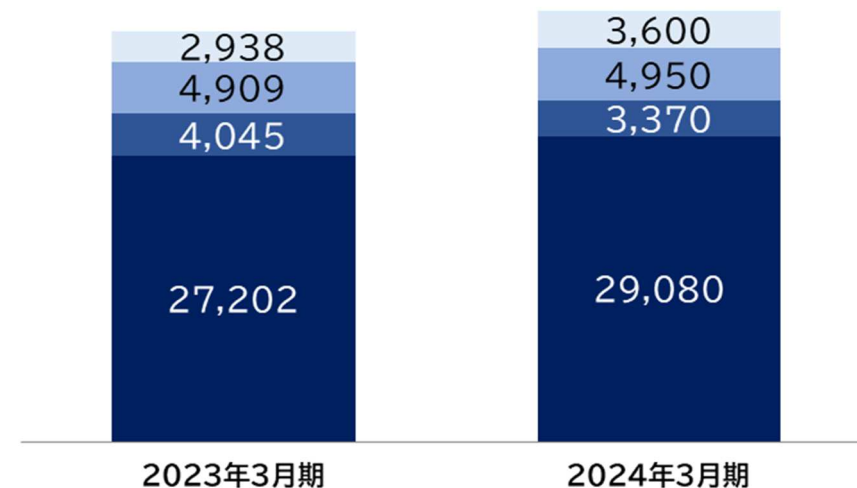
(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減	
	実績	予想	(額)	(率)
売上高	39,095	41,000	1,905	4.9%
営業利益	5,560	6,100	540	9.7%
営業利益率	14.2%	14.9%	—	0.7pt
経常利益	5,837	6,300	463	7.9%
経常利益率	14.9%	15.4%	—	0.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,742	4,200	458	12.2%
当期純利益率	9.6%	10.2%	—	0.6pt

2-2. 2024年3月期 セグメント別業績予想

■ セグメント別売上高

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期
	実績	予想
コンクリート	27,202	29,080
パイル	4,045	3,370
防災	4,909	4,950
その他	2,938	3,600

(百万円)

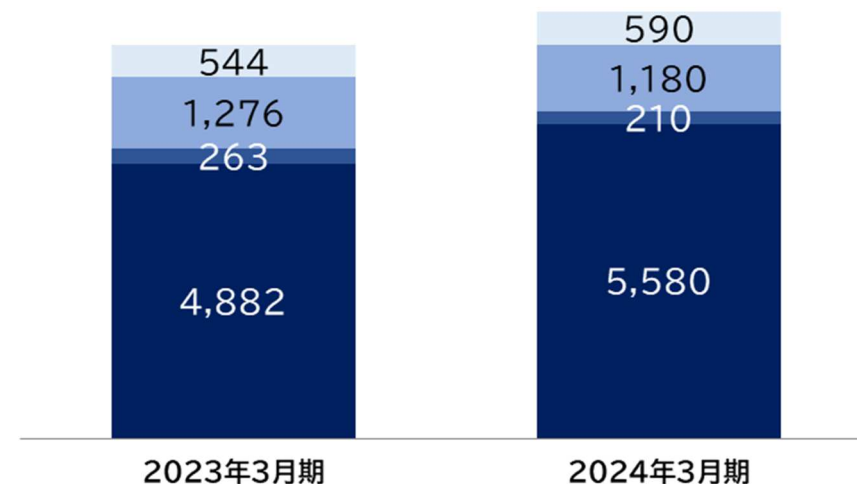


■コンクリート ■パイル ■防災 ■その他

■ セグメント別利益

(単位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期
	実績	予想
コンクリート	4,882	5,580
パイル	263	210
防災	1,276	1,180
その他	544	590
(調整額)	△1,407	△1,460
連結	5,560	6,100

(百万円)

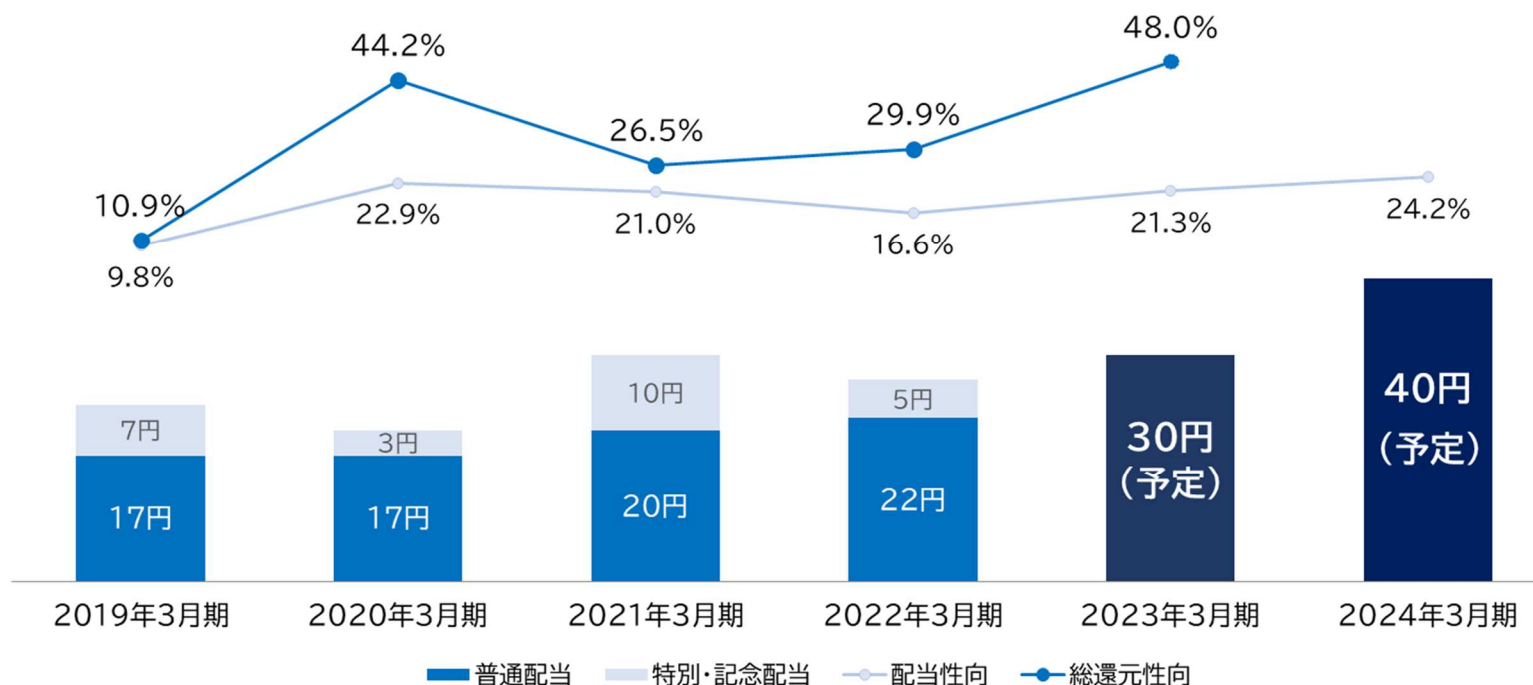


■コンクリート ■パイル ■防災 ■その他

<株主還元方針>

安定的な普通配当に加え、適宜、特別配当・記念配当を検討するほか、自己株式の取得により、総還元性向30%を目処として実施する方針としています。

- 2023年3月期は、期中に 10億円(*1) の自己株式取得を実施済みであり、期末配当は、1株当たり 30円、総還元性向は48.0%を予定しております。
- 2024年3月期の配当金は、1株あたり 40円 を予定し、自己株式の取得については、柔軟かつ機動的に実施します。



*1 2023年3月10日付で開示しました自己株式取得については、2023年3月期に計上しています。

※ 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を行っています。

※ 上記グラフの1株当たりの配当金については、過年度分においても当該株式分割が行われたと仮定して記載しています。

1. 2023年3月期通期 決算概要
2. 2024年3月期 業績予想

3 中期経営計画 進捗状況

参考資料

3-1. 第2次中期経営計画の基本方針と位置付け

第2次中期経営計画(2022/3→2024/3)

(基本方針)

① 主力事業の深堀りによるオーガニック成長の推進

主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会(新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業)の獲得に向けた取り組みを強化します。

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

<Vertex Group-BHAG>

「安心・安全」を提供する企業
ブランド力No.1へ

2028.10.1
設立10周年

<ブランドメッセージ>
安心のカタチを造る。



ベルテクス
コーポレーション
設立

2018.10.1 2019.4

第1次中期経営計画

2020/3→2022/3

- ・シナジーによる利益率改善
- ・経営基盤整備

2021.4

第2次中期経営計画

2022/3→2024/3

- ・主力事業のオーガニック成長の推進
- ・成長事業の育成と新たな収益機会の獲得
- ・経営基盤整備

2024.3

持続的成長を確実にするための
事業・経営基盤の両面の強化に
取り組む期間と位置付ける

3-2. 経営指標の推移

- 中期経営計画の2年目は、資材高騰による原価高などの影響を受けましたが、最終年度(2024年3月期)は当初計画値どおりの数値を目標といたします。

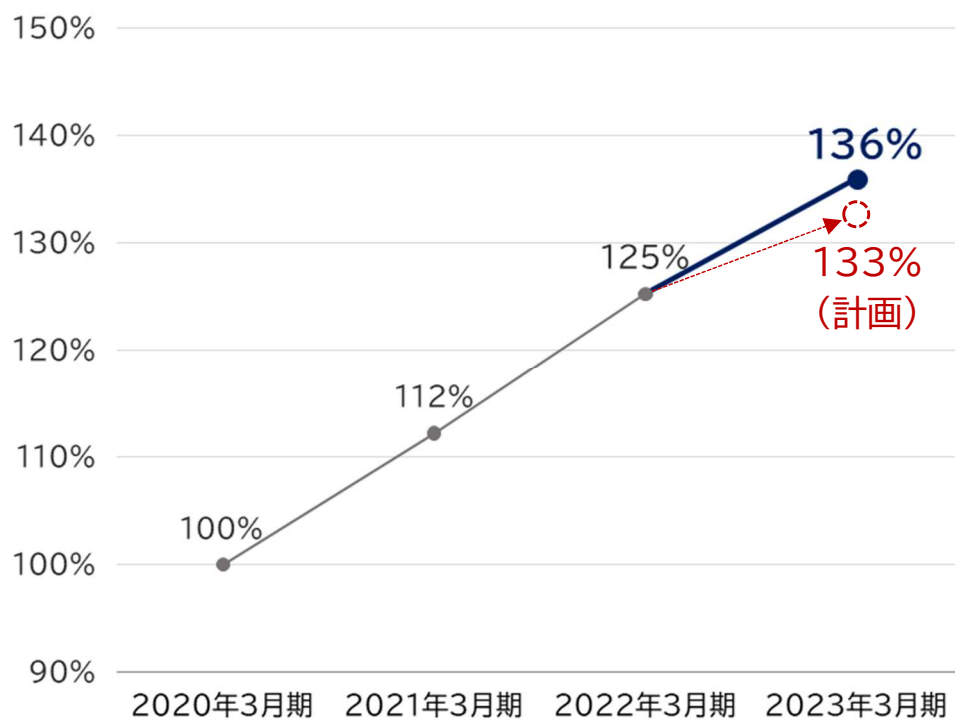
(単位:百万円)	2022年3月期 (中計1年目)		2023年3月期 (中計2年目)		2024年3月期 (中計3年目)	
	当初計画	実績	当初計画	実績	当初計画	予想
売上高	39,000	37,514	40,000	39,095	41,000	41,000
営業利益	5,500	6,143	5,800	5,560	6,100	6,100
営業利益率	14.1%	16.4%	14.5%	14.2%	14.9%	14.9%
経常利益	5,700	6,434	6,000	5,837	6,300	6,300
経常利益率	14.6%	17.2%	15.0%	14.9%	15.4%	15.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	4,242	4,000	3,742	4,200	4,200
当期純利益率	9.7%	11.5%	10.0%	9.6%	10.2%	10.2%
ROE		15.4%		12.4%		10.0%以上

● 製品販売単価アップと製品ミックス改善の推進状況

製品販売単価の伸び率 : **136%**

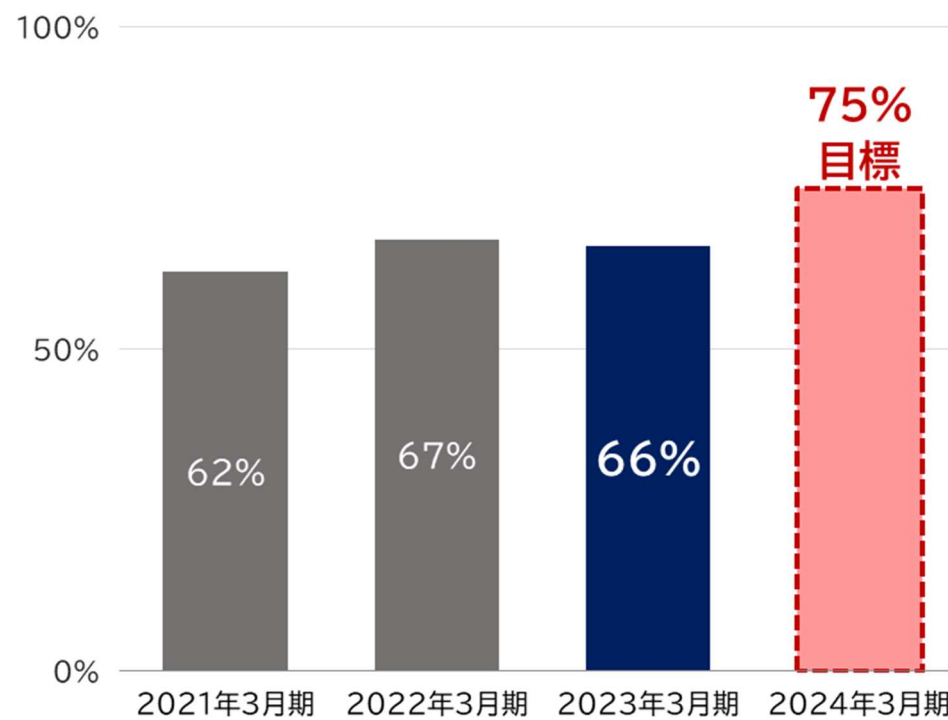
(2020年3月期比)

*対前年比 高付加価値製品 107%
汎用品 108%



付加価値製品比率 : **66%**

(対前年比 ▲1%)



第2次中期経営計画(2022/3→2024/3)

(基本方針)

① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会(新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業)の獲得に向けた取り組みを強化します。

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

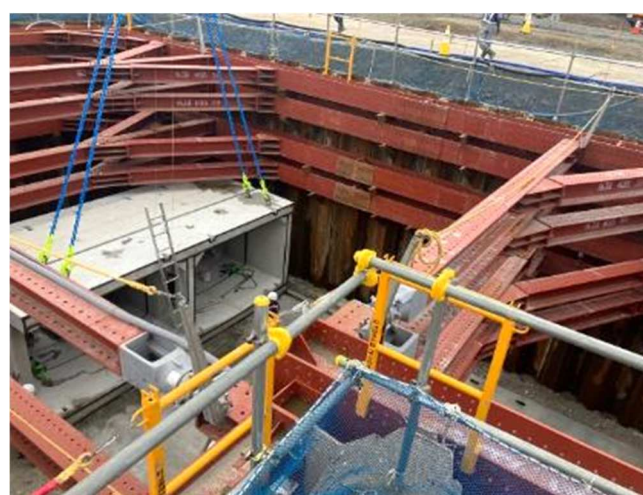
前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取り組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 高付加価値製品 事例紹介（浸水対策）

【愛知】 アジア競技大会選手村建設地(敷地面積:約20ha)に地下調整池設置

- ・ 製品名 : 二連式 SJ-BOX
- ・ 規 格 : 内幅=3.2m+3.2m、内高=2.25m、延長 約400m
2022年~2025年に掛け、総貯留量=10,000m³超を設置予定
- ・ 概 要 : 分譲マンション、商業施設等として競馬場跡地を開発。
①高土被り対応、②Pca化による工期短縮、③優れた耐震性能の保有が評価されSJ-BOXが採用されました。



① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 事例紹介（浸水対策）

【大阪】 星田駅北土地区画整理工事雨水貯留槽設置工事

・ 製品名 : M.V.P.システム

・ 規 格 : H=4500

1号調整池=4,195m³(2019年度)、3号調整池=13,780m³(2022年度)

・ 概 要 : M.V.P.システムは、現場打ち箇所が少なく水密性が高いので、地下水位の高い現場に最適です。

星田駅北地区に良質な「宅地」・「農地」を提供する事業に「安全・安心」を提供しました。



① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

● 製品開発

【防災】 ループフェンス・Eタイプ(土砂災害対策)の
建設技術審査証明(砂防技術)を取得

急傾斜地崩壊対策の杭式崩壊土砂防護柵として、(一財)砂防・地すべり技術センターより『**全国初**』の建設技術審査証明(砂防技術)を取得しました。

コンクリート擁壁等では施工不可能な、スペースのない民家裏でも施工が可能で、土砂捕捉時の変形量が小さい崩壊土砂防護柵です。



第2次中期経営計画(2022/3→2024/3)

(基本方針)

① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会(新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業)の獲得に向けた取り組みを強化します。

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取り組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

● 事例紹介（頭首工老朽化対策）

【滋賀】 日野川地区名神日野川頭首工整備第3号工事

- ・ 製品名：ダクトルパネル(超高強度繊維補強コンクリート)
- ・ 規格：パネル厚=30mm、 施工面積=504m²
- ・ 頭首工土砂吐の摩耗補修として、エプロン部をダクトルパネルにて施工しました。
- ・ 工場製品なので、冬季の厳しい環境下でも施工可能です。
- ・ 耐摩耗性・耐衝撃性に優れており、摩耗対策として非常に有効です。
- ・ 国営事業における施工実績が豊富です。



② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

● 事例紹介（雪害対策）

【福井・石川】 北陸新幹線各駅の駅前広場歩道部に無散水融雪パネル設置

- ・ 製品名：無散水融雪パネル
- ・ 積雪地域の玄関口である駅前広場で、「安全・安心の歩行空間形成」に大きく貢献しています。

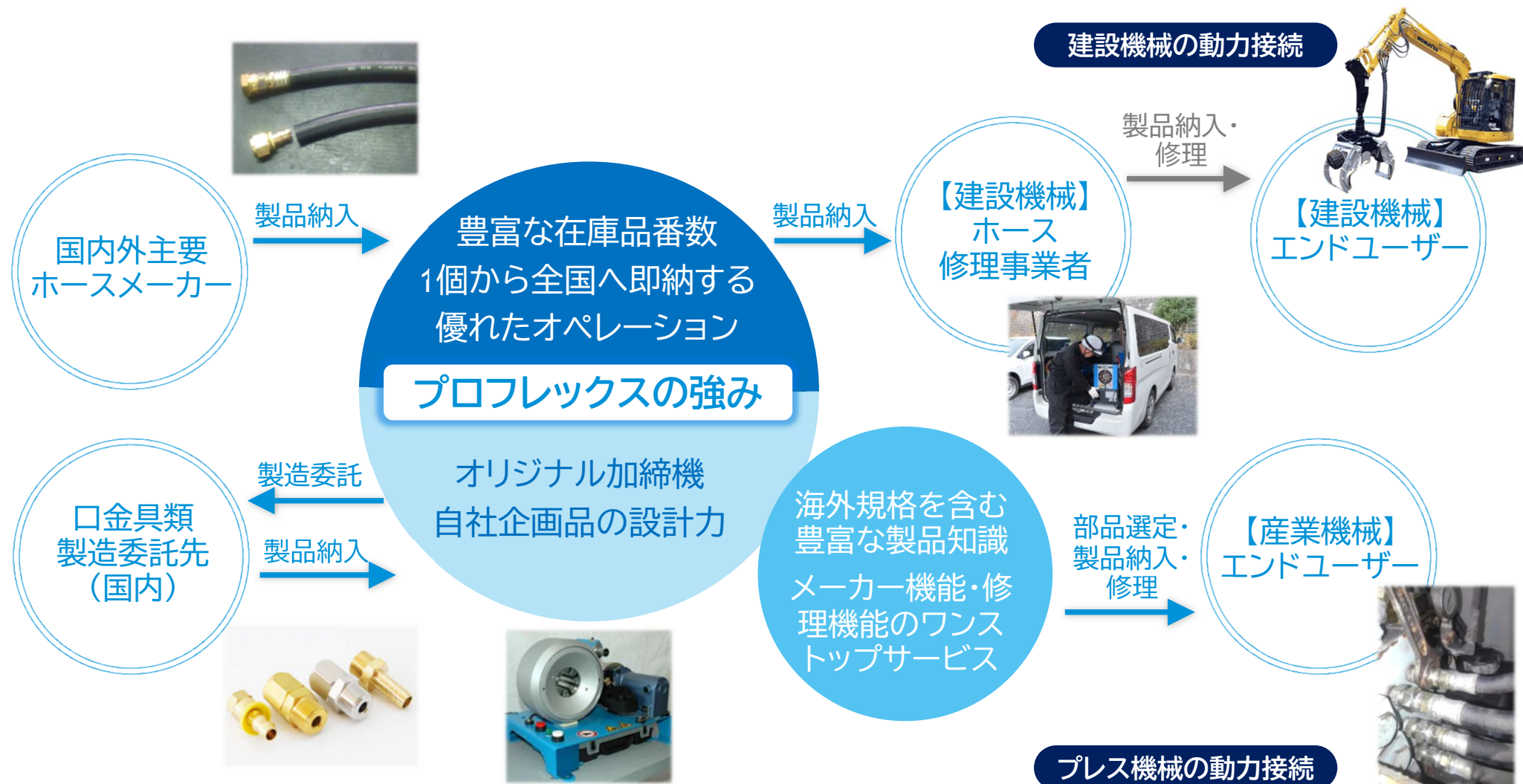
①小松駅東口・西口	幅員 = 1.8~2.0m × 施工延長 約300m (融雪面積 約600m ²)
②福井駅東口他	幅員 = 3.0m × 施工延長 約100m (融雪面積 約300m ²)
③越前たけふ駅西口	幅員 = 2.0m × 施工延長 約150m (融雪面積 約300m ²)



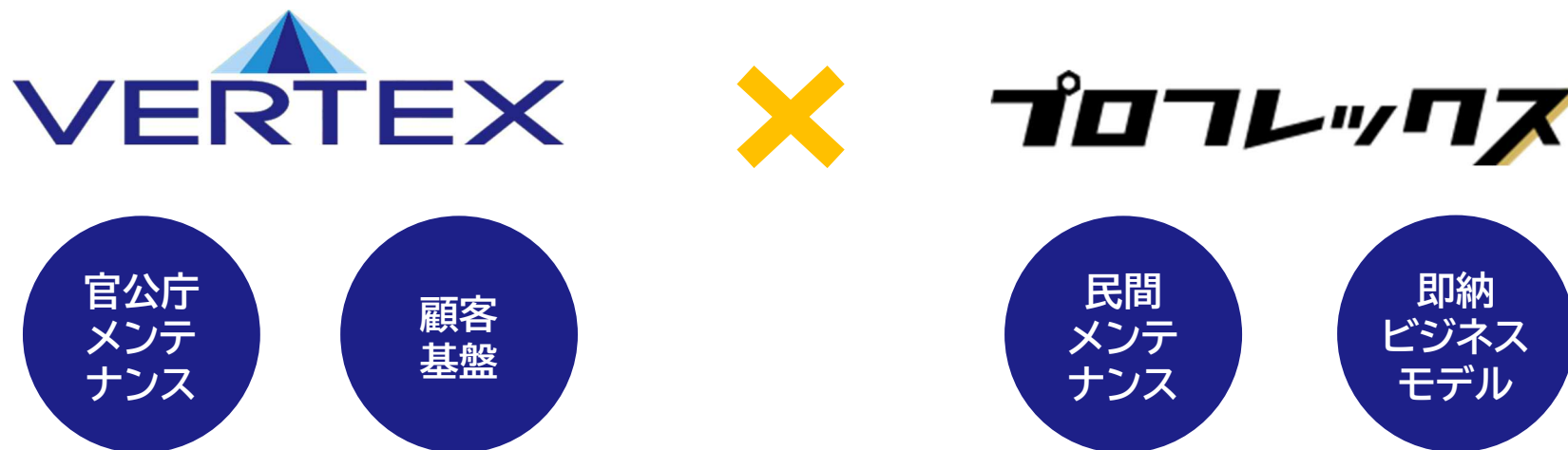
② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

● プロフレックス株式会社の完全子会社化

中期経営計画の基本方針「成長事業の育成と新たな収益機会の獲得」に基づく取り組みとして、2022年10月4日にプロフレックス株式会社を完全子会社化しました。



■ 今後の展開



● 顧客基盤等の活用による売上機会の創出

プロフレックス株式会社の強みと、当社の顧客基盤等の資産を有効活用することによる事業の成長加速を実現

● メンテナンス事業の取り込みによる事業ポートフォリオの強化

官・民両分野のメンテナンス事業の取り込みによる将来的な事業ポートフォリオの強化と安定化の実現

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

● Vertex Tec Vietnam

2023年4月1日に操業を開始しました。

当面は、設計・開発業務を主に行いますが、今後、新規市場参入に向けた市場調査及び事業展開の推進や体制整備などを進めていきます。

概要

名称	Vertex Tec Vietnam
所在地	ベトナム社会主義共和国 ハノイ市
主な事業内容	設計・開発業務、市場調査ならびに市場開拓業務
設立日	2022年11月9日
操業日	2023年4月1日



第2次中期経営計画(2022/3→2024/3)

(基本方針)

① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。

② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会(新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業)の獲得に向けた取り組みを強化します。

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取り組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

- 下記施策を中心に、経営基盤の整備・強化に取り組んでいます。

発表時の施策内容

現在の進捗状況

施策1

- ◆ 人材開発プログラム・採用プログラムの再整備



- ・ベルテクスアカデミーの設立
- ・人材開発グループの設置 <ベルテクス>
- ・全社教育プログラムの実施 (2022.4~実施中)

施策2

- ◆ 情報システム・ICTインフラの整備、DXの推進



- ・新基幹システム稼働 (2023.4~) <ベルテクス>
- ・人事・就業システム稼働 (2022.2~) <ベルテクス>
- ・新基幹システム稼働 (2021.4~) <ベルテクス建設>

施策3

- ◆ グループガバナンス体制・リスク管理体制の構築



- ・コンプライアンス研修(グループ全社員対象)
(2021・2022年度実施済、2023年度準備中)
- ・内部監査の強化
(約150拠点/3年 計画通り実施中)

施策4

- ◆ 事業ポートフォリオマネジメント機能の整備・強化



- ・小規模事業の戦略・施策について精査実施
- ・事業ポートフォリオマネジメント機能は整備を継続

施策5

- ◆ サステナビリティ推進体制の整備



- ・サステナビリティ委員会の設置 (2023.2~実施中)

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

● 研修プログラムの実施

更なる人材強化と次世代の人材育成を目指してプログラムを整備・拡充しました。

	新入社員	若手社員	中堅社員	管理職	上位管理職
階層別	新入社員研修	若手社員研修	中堅社員研修	管理職研修	上位管理者研修
目的別	アカデミック研修 <自主参加型>				
全社員	全社員研修（ビジネススキル／コンプライアンス／ハラスメント など）				
部門別	部門別研修（営業・生産・技術・管理部門など）				

○ 階層別研修

対象：新入社員、若手社員、中堅社員、新任管理職、新任上位管理者
 目的：階層別の役割要件と求められる能力・資質の開発、意識の醸成

○ 全社員研修

対象：グループ全役職員（約1,100人）
 目的：コンプライアンス、ハラスメントなどの知識・意識の定着

○ アカデミック研修

対象：グループ全社からの公募方式
 目的：ゼネラリストに求められる能力の開発、意識の醸成

○ 部門別研修

対象：部門毎に対象者を選定
 目的：専門的な知識習得と能力の開発

③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

● 研修プログラムの実施

若手社員研修

2022年9月～2023年3月までの7カ月間にわたり、グループ会社の若手社員40名による集合学習&グループワークを実施。



2023年度 新入社員研修

新入社員および昨年度中途入社した社員を対象に、2023年4月4日より2週間研修を実施。



③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

● サステナビリティ委員会の設置

サステナビリティへの取組みを加速させるため、経営層を中心として構成されるサステナビリティ委員会を2023年2月より設置しました。

サステナビリティ委員会



第2次中期経営計画 営業キャッシュ・フロー

3年間累計目標
140 億円

2年間累計 **89** 億円



主力事業の強化
成長事業の育成
新たな収益機会の獲得

3年間累計目標
98 億円

2年間累計 **63** 億円



株主還元

3年間累計目標
42 億円

2年間累計 **31** 億円

設備投資 2年累計 **30** 億円

主な内容

- ・ バッチャープラント整備（千葉工場）
- ・ 防災製品製造建屋建築（長崎工場）

研究開発 2年累計 **5** 億円

主な内容

- ・ 防災製品(ダブルフェンス)開発実験

M&A投資 2年累計 **28** 億円

主な内容

- ・ プロフレックス株式会社の株式取得
- ・ スタートアップ企業への投資

自己株式の取得 2年累計 **15.5** 億円

2022年3月期 5.5億円 実施

2023年3月期 10.0億円 実施

配当金 2年累計 **15.1** 億円

2022年3月期 7.2億円 実施

2023年3月期 7.9億円 予定

● 設備投資

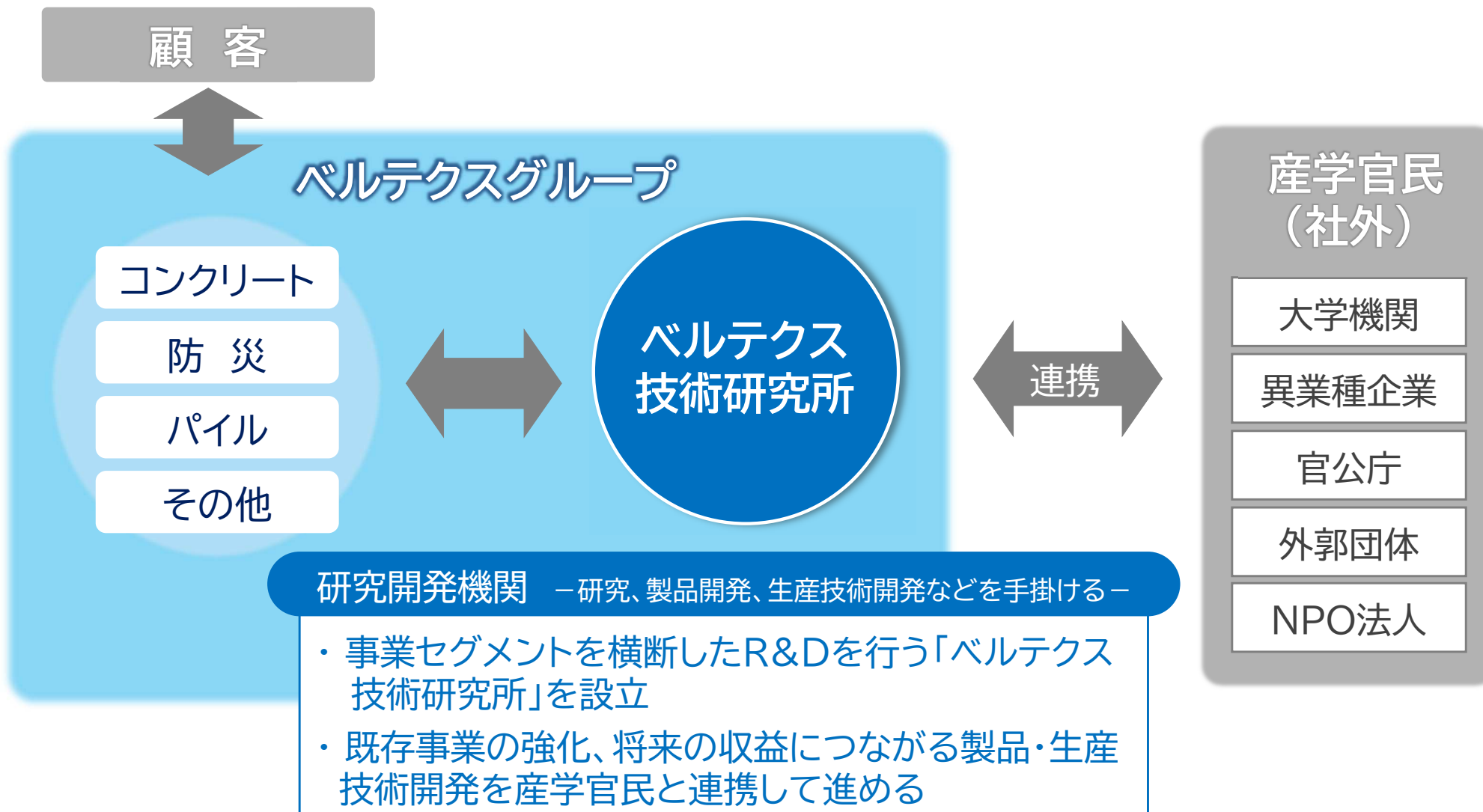
九州エリアの防災製品の製造拠点及びBCP対策の一環として、九州ベルテクス株式会社 長崎工場 に製造用建屋を建設しました。

- ・ 竣工日 2022年11月1日
- ・ 建屋面積 1356.77m²
- ・ コンクリートセグメント製品など防災製品以外の生産も可能です。



● 技術研究所の設立

2023年4月に技術研究所を立ち上げました。当社が保有する数多くのノウハウや実績、パテントなどをベースにビジネスモデルの進化に向けて、研究開発へ積極的に投資してまいります。



1. 2023年3月期通期 決算概要
2. 2024年3月期 業績予想
3. 中期経営計画 進捗状況



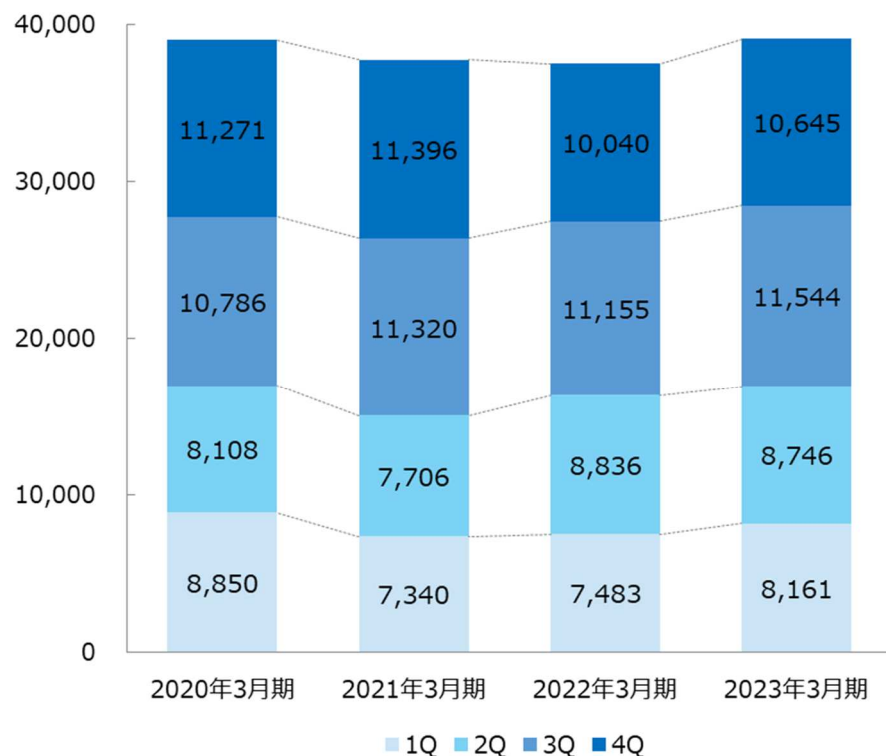
参考資料

四半期別業績

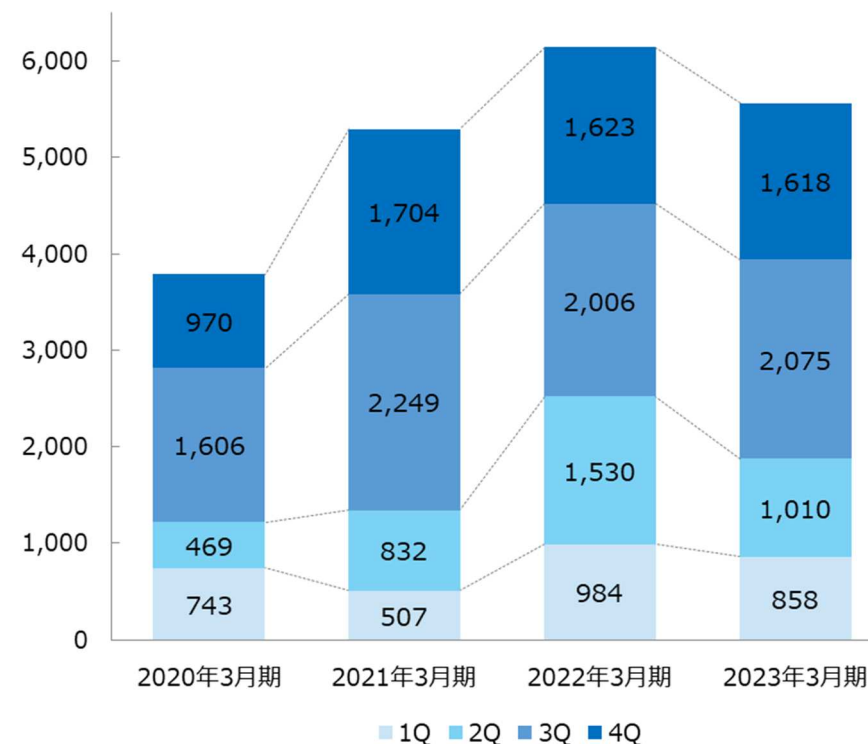


(単位：百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,850	8,108	10,786	11,271	7,340	7,706	11,320	11,396	7,483	8,836	11,155	10,040	8,161	8,746	11,544	10,645
売上総利益	2,212	2,023	3,068	2,844	1,928	2,282	3,610	3,428	2,463	3,009	3,426	3,009	2,386	2,558	3,656	3,218
売上総利益率	25.0%	24.9%	28.4%	25.2%	26.3%	29.6%	31.9%	30.1%	32.9%	34.1%	30.7%	30.0%	29.2%	29.2%	31.7%	30.2%
販管費	1,469	1,553	1,461	1,874	1,421	1,451	1,361	1,725	1,479	1,480	1,420	1,386	1,528	1,548	1,581	1,600
営業利益	743	469	1,606	970	507	832	2,249	1,704	984	1,530	2,006	1,623	858	1,010	2,075	1,618
営業利益率	8.4%	5.8%	14.9%	8.6%	6.9%	10.8%	19.9%	14.9%	13.2%	17.3%	18.0%	16.2%	10.5%	11.5%	18.0%	15.2%

売上高

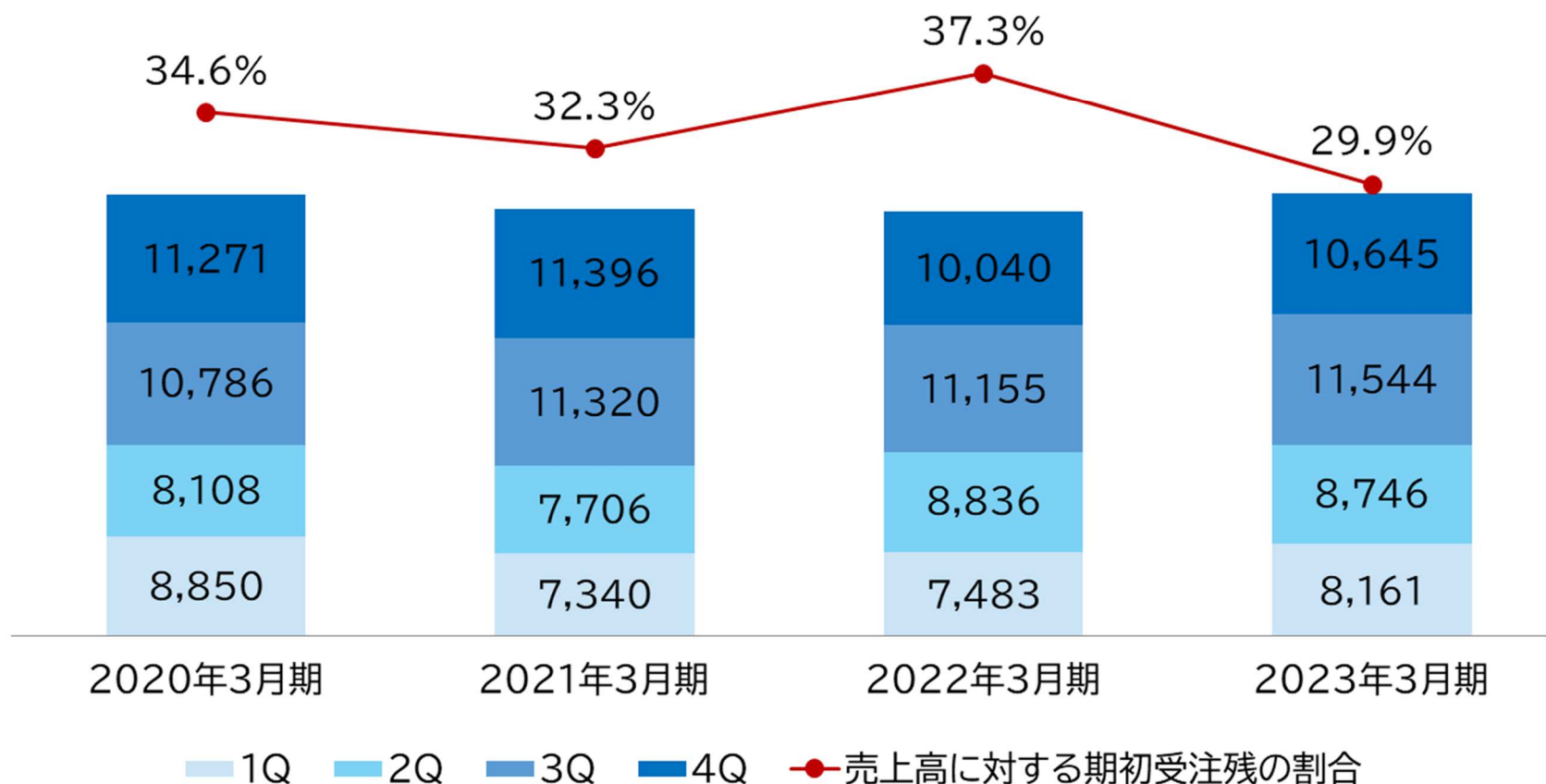


営業利益



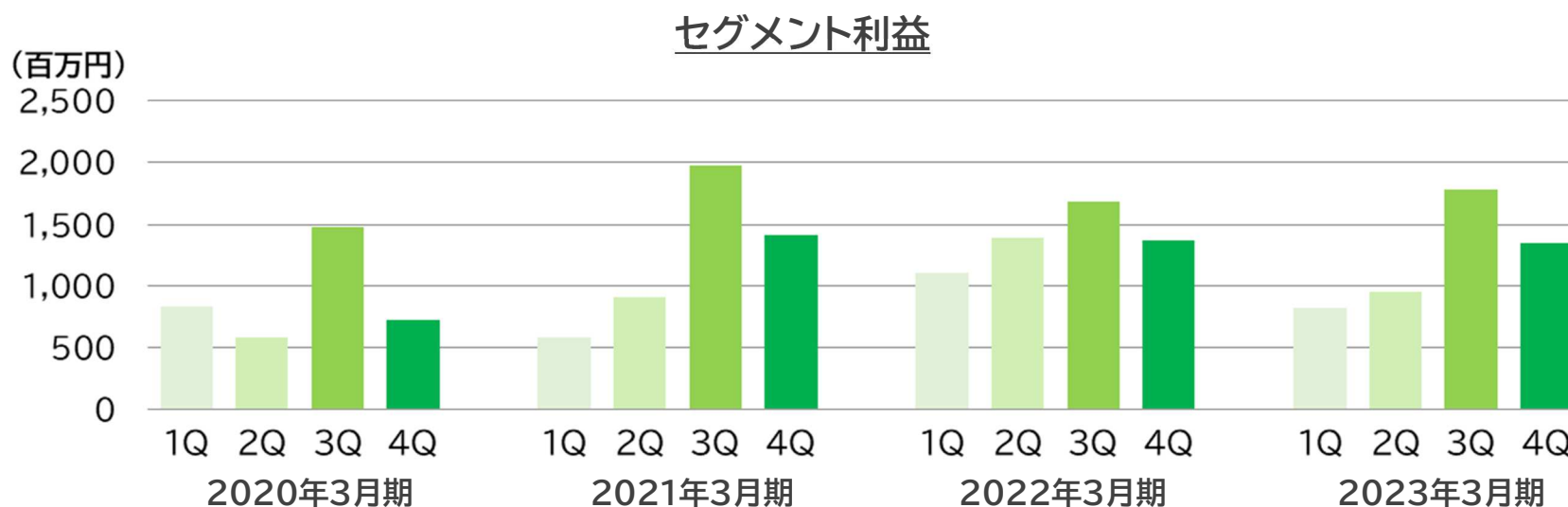
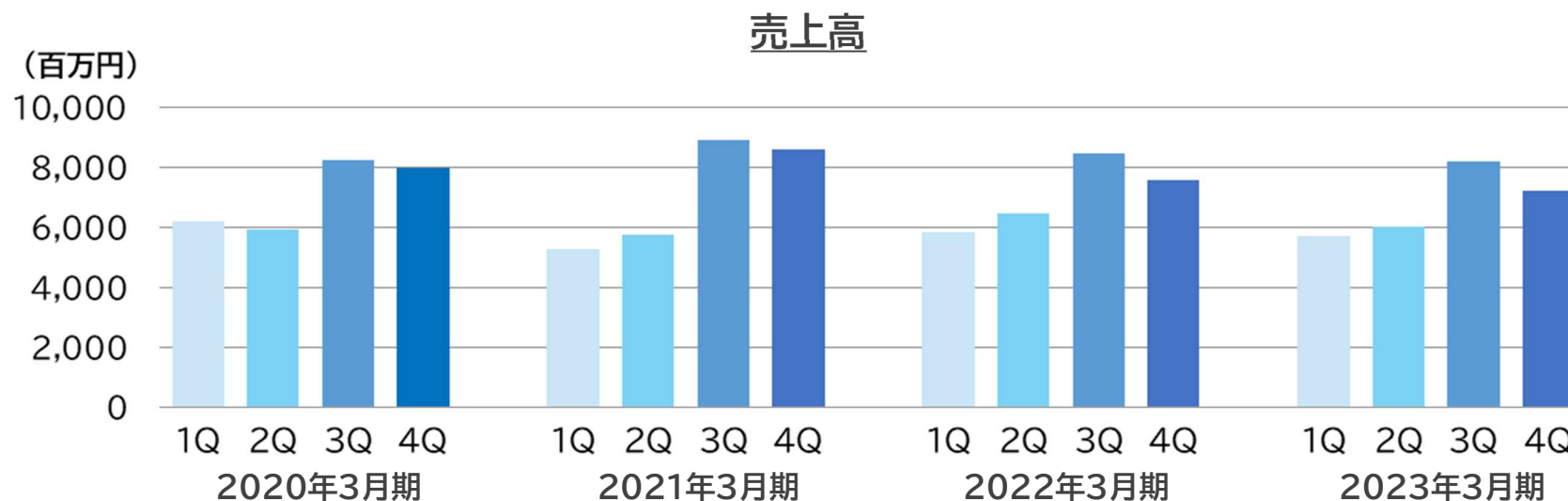
(単位:百万円)

	2020年3月期					2021年3月期					2022年3月期					2023年3月期				
	期初 受注残	売上高 (四半期毎)				期初 受注残	売上高				期初 受注残	売上高				期初 受注残	売上高			
		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q
		39,014					37,763					37,514					39,095			
売上高	13,514	8,850	8,108	10,786	11,271	12,187	7,340	7,706	11,320	11,396	13,983	7,483	8,836	11,155	10,040	11,702	8,161	8,746	11,544	10,645
売上高比率	34.6%	22.7%	20.8%	27.6%	28.9%	32.3%	19.4%	20.4%	30.0%	30.2%	37.3%	19.9%	23.6%	29.7%	26.8%	29.9%	20.9%	22.4%	29.5%	27.2%



四半期別、セグメント別業績 ①コンクリート

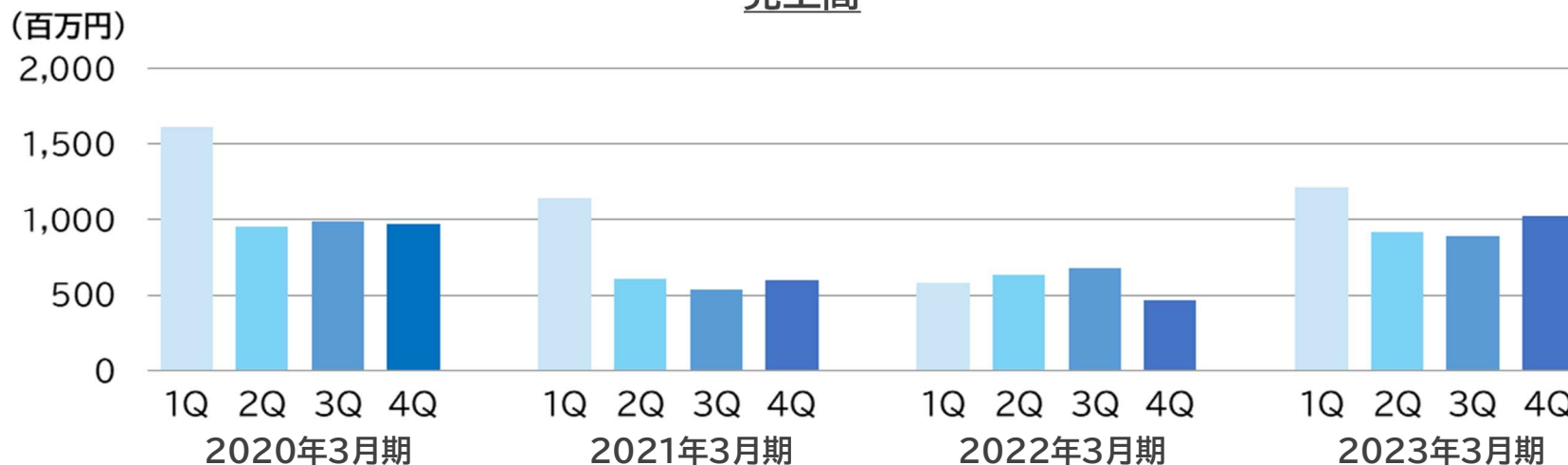
■ コンクリート (単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	6,209	5,969	8,238	7,998	5,282	5,790	8,899	8,586	5,883	6,491	8,462	7,595	5,732	6,046	8,213	7,214
セグメント利益	825	582	1,479	717	585	901	1,979	1,420	1,097	1,395	1,689	1,369	815	954	1,781	1,333



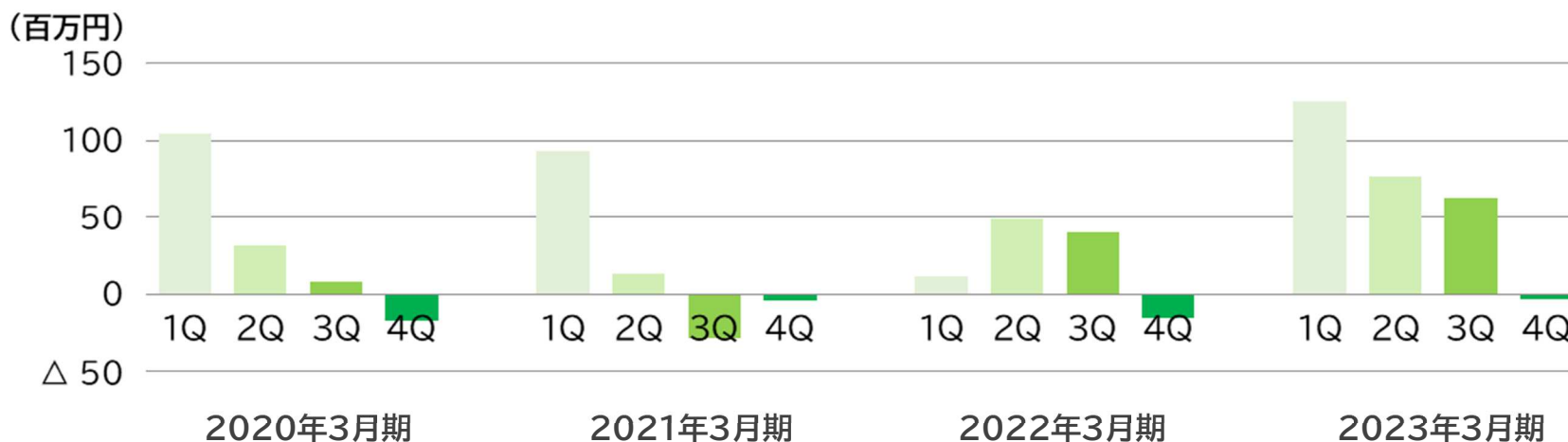
四半期別、セグメント別業績 ②パイル

■ パイル (単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,612	954	987	967	1,149	609	538	597	582	636	674	464	1,218	916	888	1,024
セグメント利益	105	32	8	△17	93	13	△28	△4	11	49	41	△15	126	77	63	△2

売上高



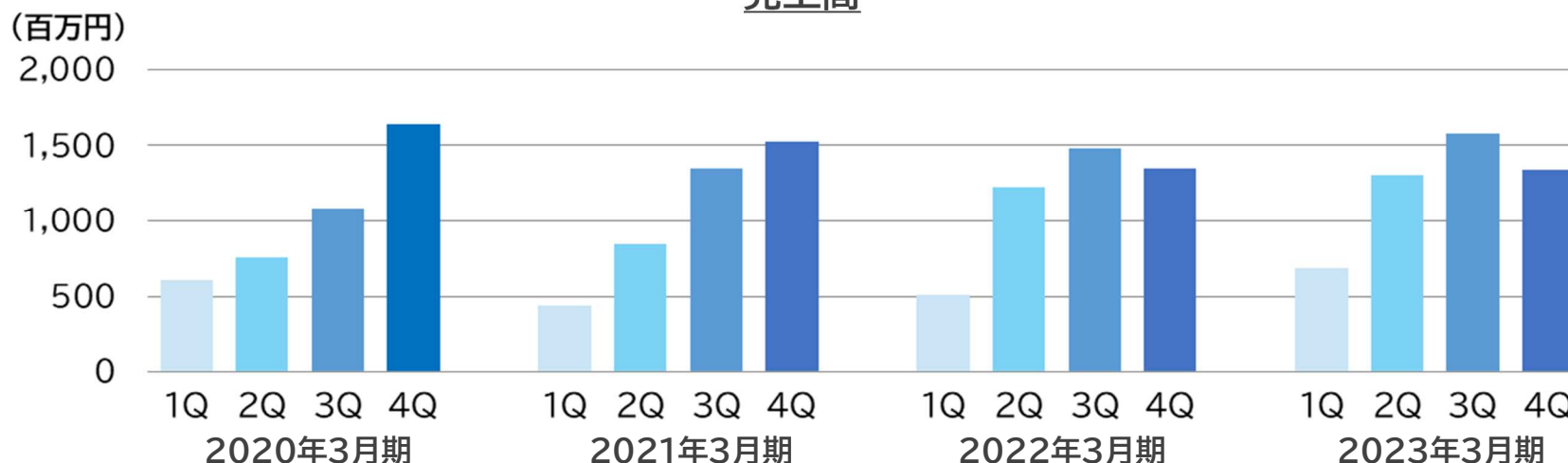
セグメント利益



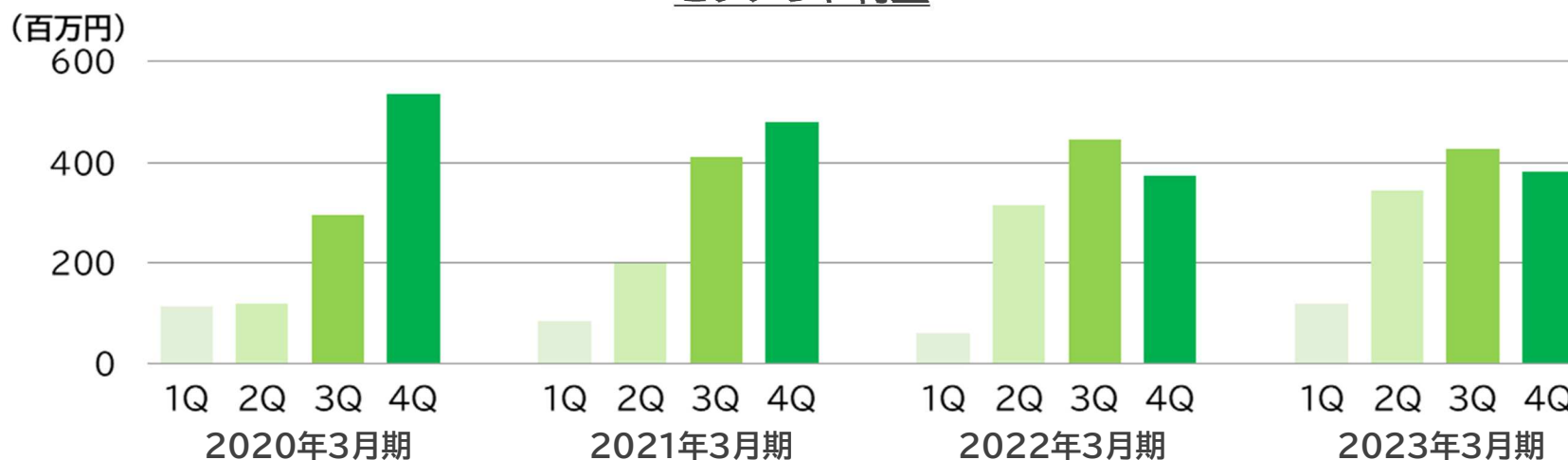
四半期別、セグメント別業績 ③防災

■ 防災 (単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	605	754	1,086	1,638	442	847	1,354	1,527	506	1,225	1,483	1,352	682	1,309	1,579	1,340
セグメント利益	114	118	294	535	85	197	411	481	61	315	445	373	120	345	426	386

売上高

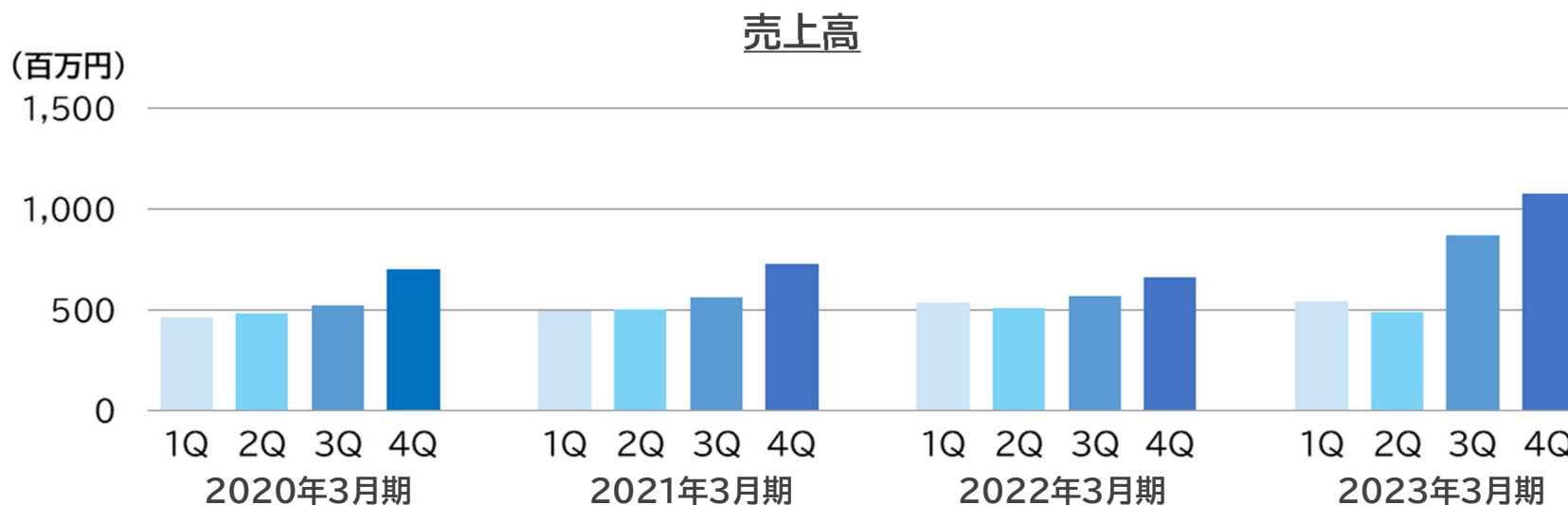


セグメント利益



四半期別、セグメント別業績 ④その他

■ その他 (単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	462	480	523	703	498	502	561	729	533	505	565	662	540	487	876	1,078
セグメント利益	59	52	130	126	59	78	154	167	90	105	123	142	95	19	176	255



<お問い合わせ先>

株式会社ベルテクスコーポレーション

経営企画本部 経営企画部

Tel : 03-3556-2801

本資料中の業績予想、事業計画等に関する記述は、本決算発表日時点における合理的な将来予測に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因で変更される場合がございます